

9月定例会の概要

会期 8月18日～9月3日の17日間

一般質問議員 14人

8月25日(火)

山本 茂博
中 拓哉
松坂 英樹
森 礼子

8月26日(水)

坂本 登
藤本眞利子
雑賀 光夫
中西 峰雄

8月27日(木)

花田 健吉
秋月 史成
奥村 規子

8月28日(金)

泉 正徳
浦口 高典
山田 正彦

会期中の主な動き

■特別委員会の開催

- 人権・少子高齢化問題等対策特別委員会(8/27)
- 行政改革・基本計画等に関する特別委員会(8/28)

■特別委員会の設置

- 決算特別委員会を設置し、委員を選任(9/3)

議決結果・意見書等

項目	件数	概要	結果
予算案件(知事提出)	1件	平成27年度和歌山県一般会計補正予算	可決
条例案件(//)	13件	和歌山県個人情報保護条例の一部を改正する条例 等	可決
決算案件(//)	2件	平成26年度和歌山県歳入歳出決算の認定について 等	継続審査
人事案件(//)	4件	和歌山県教育委員会の委員の任命につき同意を求めるについて 等	同意
その他案件(//)	13件	平成27年度建設事業施行に伴う市町村負担金について 等	可決
請 願	1件	「安全保障関連法案」は国会での採決をせずに引き続き慎重な審議を求める請願	不採択
意見書	4件	「企業・団体等による部落差別撤廃のための法律」の早期制定を求める意見書 和歌山県の社会資本整備に必要な予算の確保等を求める意見書 地方創生に係る新型交付金等の財源確保を求める意見書 ICT利活用による地域活性化とふるさとテレワークの推進を求める意見書	可決

主な質問とこれに対する知事や関係当局の答弁は、次のとおりです。(要約)

国 体

国体の男女総合優勝への見通し

問 知事は、就任直後より、紀の国わかやま国体で男女総合優勝を目指すと言及しているが、現在、どのような手応えを感じているのか。

答 これまで、和歌山県競技力向上対策本部において、毎年度の目標設定や各競技の強化策の計画を立てて取り組んできました。その結果、多くの競技において、全国大会で入賞するなどの成果があらわれてきており、手応えを感じているところです。県民の皆様には、会場にお越しいただき、会場いっば



いの応援で本県選手団を後押ししていただきたいと思います。

くらし・生活

インターネット有害サイト対策

問 青少年の有害サイトへのアクセスを制限するフィルタリングを義務づける法律が施行され、県青少年健全育成条例でも努力義務を課しているが、もっと子供をインターネット被害から守るため、毅然とした対応をどうするか。

答 保護者が青少年のインターネット利用による危険性を十分に理解し、安易にフィルタリング解除に同意しないよう、新たな仕組みを検討します。また、法律は努力義務にとどまっているので、保護者に対して義務の強化、事業者に対しては罰

買い物弱者対策

問 みずから移動手段を持たない交通弱者に対し、移動スーパードのような民間事業者の営業活動の力をかりて、県内全域で買い物弱者ゼロ作戦を展開してはどうか。

答 県では、買い物弱者対策として、過疎地域においては過疎集落支援総合対策事業メニューの1つとして支援し、要援護者にはホームヘルパーによる買い物サービス等に取り組みんでいます。民間事業者では、店舗まで送迎する買い物バスやネットショッピング等、様々な



取組をされていますが、移動スーパードは有効な取組と認識しています。今後とも、市町村等と協力しながら買い物弱者対策に取り組んでいきます。

土 木

下水道事業計画の課題

問 下水道整備には費用と時間がかかり、面整備が進んでいない。特に紀の川流域下水道では市町の財政を圧迫しているが、ともに計画を進めてきた県として特段の配慮を願いたい。

答 県では、面整備を促進するため、管渠の整備を行った市町に対し、その実績に応じ費用の一部を負担する県独自の和歌山県下水道事業促進交付金制度を設け、市町の財政負担軽減を図っています。今後引き続き、市町と十分連携し、下水道事業の適切な促進に努めていきます。

広川の河川整備計画

問 県が広川の河川整備計画を策定するに当たり、水路や用水とあわせ、市町村とともに面的に一体的な整備を進めべきであると思うが、どうか。

答 現在、平成29年度末を目標に、広川も含めた主要河川の河川整備計画を策定することとしています。広川の河川整備計画については、今後、検討が本格化することになります。まず、市町の行う排水対策を検討いただくとともに、県としては、河川改修と一体となった効果的、効率的な浸水対策が実施できるよう調整を行っていきます。